豊かで安心した老後を迎えるために

「１２６の法則」を活用しましょう！

皆さん　投資元本が２倍になる年数や利率を求める「７２の法則」というのは、聞かれた事がある方も多いのではないでしょうか？　これは一括投資の場合で　「年数」　×　「利率」　＝７２　の算式です。（図表１）

例えば　年利率　２％なら　72÷2（％）で　元本が２倍になるまでに　３６年を要します。

年利率　7.2％　なら　72÷7.2＝　１０年で　２倍になります

逆に２０年で倍にするのは　72÷20＝　3.6％で運用する必要があります。

これに対して　「126の法則」とは　積立投資の場合で、積立投資元本の合計が２倍になるまでの年数や利率を求める算式です。　「年数」　×　「利率」　＝126　の算式です。（図表１）

この算式は画期的で、ＦＰの世界に長く生きる方でも、初めての方も多いのではないでしょうか？

慶應義塾大学の枇々木規雄教授が、新たに開発されました。

|  |
| --- |
| **図表１　「７２の法則」　と　「１２６の法則」** |
| **【一括投資】　　　　　　　　　７２の法則** | **【積立投資】　　　　　　　　　１２６の法則** |
| **７２÷利率で、元本が２倍に　　なる迄に要する年数が分かる** | **126÷利率で、積立元本が２倍になる迄に要する年数が分かる** |
| 出所：慶応義塾大学　枇々木規雄教授の記事より |

|  |
| --- |
| **図表２　積立元本が２倍になる「１２６の法則」の使い方** |
| **「年数」×「利率（％表示）」＝１２６** |
| **●運用利率から「年数」を求めたい** | **●運用年数から「利率」を求めたい** |
| **利率２％：　126　÷　２　＝　６３年** | **期間10年：　126　÷　10　＝　12.6％** |
| **利率３％：　126　÷　３　＝　４２年** | **期間2０年：　126　÷　20　＝　6.3％** |
| **利率５％：　126　÷　５　＝　25.2年** | **期間30年：　126　÷　30　＝　4.2％** |
| **利率7.5％：　126　÷　7.5　＝　16.8年** | **期間40年：　126　÷　40　＝　3.15％** |
| **利率10％：　126　÷　10　＝　12.6年** | **期間50年：　126　÷　50　＝　2.52％** |
| 出所：慶応義塾大学　枇々木規雄教授「積立投資の新ルール」の記事より |

図表２を活用する事により、必要な老後資金を　「いつまでに」　「いくら準備したいか」　計算する事が可能です。

|  |
| --- |
| **図表3　「１２６の法則」を活用した年代別の運用イメージ** |
| **積立期間** | **法則説明** | **月額投資金額** | **利回り** | **投資元金** | **目標金額** |
| **２３歳～６５歳** | **４２年で２倍に** | **20,000円** | **3.00%** | **1.008万円** | **2.016万円** |
| **３５歳～６５歳** | **３０年で２倍に** | **35.000円** | **4.20%** | **1.260万円** | **2.520万円** |
| **４０歳～６５歳** | **２５年で２倍に** | **50.000円** | **5.04%** | **1.500万円** | **3.000万円** |
| **５０歳～７０歳** | **２０年で２倍に** | **70.000円** | **6.30%** | **1.680万円** | **3.360万円** |
| 出所：慶応義塾大学　枇々木規雄教授の記事より |

２０２４年１月から、新NISA制度が大幅に改正されます。　特徴は以下の３点です！

1. 譲渡益や配当金に税金がかからない（非課税）期間が、なんと一生涯続きます。
2. １年間の投資金額が　３６０万円　まで可能です。
3. 非課税による投資合計額が　１８００万円まで　可能です。　夫婦２人なら　３６００万円です。

３６００万円だと、一般的な家庭ならほぼ　収まってしまうのではないでしょうか？

当社のアドバイスポリシーは、１０年以上位の長期的な積立投資による資産形成です。

世界の株式市場が生成するリターン（年率平均7.5％）を、日本の皆様の家計にお届けする事です。

これによって、豊かな老後、安心した老後をお迎えされるお手伝いをさせて頂いております。

「126の法則」を有効活用して、一緒に豊かなセカンドライフを迎える準備を始めましょう！

ＣＦＰ＆代表：岩本　悟